

第5学年 国語科学習指導案

1 単元名 まんがの面白さをしょうかいしよう

2 学習材 「まんがの方法」 (教育出版)教科書教材

3 単元について

本単元では、目的に応じて、文章とまんがの表現方法を結び付けて考え、理解したことに基づいて、自分の考えをまとめるたりすることをねらいとしている。

前年度では「ウミガメの命をつなぐ」の単元で、文章の姿をとらえる際に、写真や表、図を活用しながら、接続詞に注目して内容を掴んだり、要約したりする学習をしてきた。これまでの学習を通して、児童は、文章だけでなく、写真や表、図から情報を見つけ出すことはできるようになってきたが、情報を結び付けて考えることが難しいことがある。また、自分の意見に自信がもてずに自分の考えを書くことに苦手意識をもつ児童が多くいる。「まんがの方法」は、高度な発展を遂げている日本の漫画の表現方法から、代表的な7つを取り上げ、実際の漫画を用いて読者にその効果をわかりやすく解説した文章である。社会では、漫画の文化的価値が認められて久しいが、児童にとっての漫画は、まだ内容的な娯楽性が中心であると考えられる。文化的な面白さを見いだすきっかけとなるのが、この教材だろう。また、漫画に対する自らの考えの変化を文章化するという目的に応じて、教材文を読み進めていく単元でもある。そこで、教材文を読む中でまんがと文章を結び付けて考える力や自分の考えをまとめる力を本単元で高めていきたいと考える。

本単元を貫く言語活動として、「自分のお気に入りのまんがを紹介する」ことを位置づけた。そのために「まんがの方法」で紹介されている表現の方法や効果を的確に押さえたり、自分が選んだ漫画と比較したりしながら読むことが大切になってくる。また、友達からお気に入りの漫画を紹介してもらうことで、様々な表現方法や効果に気づくことができると考えた。したがって、本単元でねらう「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。」(C 読むことウ)「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。」(C 読むことオ)を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

4 指導計画（11時間扱い）

◆指導事項 5, 6年「読むこと」

ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

◆言語活動 まんがの面白さの秘密を知り、その魅力をマンガの場面を取り出して伝える。

次	時	主な学習活動と内容	
1 見 つ け る	1 【本時】	◎お気に入りの漫画を友達に知らせるといふねらいをつかみ、学習の見通しをもつ。	並 行 読 書 （ 図 書 室 に あ る 漫 画 に 関 係 す る 本 ）
	2	①漫画の面白さについて考える。 ・漫画の一場面を切り抜いたものを見て、その特徴について考え、漫画の面白さの秘密を調べていきたいという意欲を持つ。	
	3	②単元の目標と学習活動を知り、学習計画を立てる。 ・自分の漫画の面白さの秘密を考え、単元のゴールとして、自分のお気に入りの漫画を紹介し合うことを確認する。 ③自分が選んだ漫画の楽しさを紹介する。 ・「まんがの方法」を読む前に、漫画に対するイメージや、好きな漫画の面白いと思っている理由をワークシートに書き、発表し合う。	
2 深 め る	4	◎「まんがの方法」を読み、漫画の方法と効果を読み取り、自分の選んだ漫画にどのように使われるのか確かめる。 ①全文を通読し、作品の全体をつかむ。 ・漫画の方法と効果について書かれていることを理解させ、読み取りの見通しを持たせる。	
	5,6,7 【本時】	②漫画の方法と効果を読みとる。（コマ、フキダシ、手書きの文字、人物のえがき方、物語の進行の仕方、背景、ナレーター） ・「まんがの方法」が自分の選んだ漫画でどのように使われているのかを振り返り、毎時間、記録していく。	
	8	③自分が選んだまんがに取り上げられていた方法や効果をまとめ、発表の準備を行う。 ・記録したことを整理し、改めて、自分の選んだ漫画の面白さについてまとめる。	
3 伝 え る	9,10	◎自分の選んだ漫画の楽しさを改めて紹介する。 ①今までまとめた記録を基に、お気に入りの漫画を紹介し合う。 ・今までの学習を振り返り、発表シートをまとめる。 ・発表シートを基に、自分のお気に入りのマンガについて紹介する。	
	11	②「まんがの方法」を読む前と読んだ後を比べて、漫画に対する考えの変化をまとめる。 ・学習を振り返り、学んだことを書いて、発表する。	

--	--	--	--

5 本時の指導 (1 / 11)

(1) 目標 漫画の一場面から漫画の特徴や表現方法を考えることで、学習の意欲をもつことができる。【読むこと ウ】

(2) 仮説との関連

文学的な文章に関する教材の読みを基調として、課題について書いたり交流したりして考えを深め、授業の振り返りの在り方を工夫していけば、「書くこと」を通して読む力を向上させることができるだろう。


単元を通して、「お気に入りの漫画を友達に知らせる」という学習問題に向かって学習していく。目的を明確化させることによって、児童の意欲を高め、見通しをもって学習に進めることができると考えた。本時は、「まんがの方法」を読む前に、漫画の一場面を見て、教員や子供同士で交流する中で漫画特有の表現方法があることに気づき、「まんがの方法」を調べることにに対する意欲と単元の見通しを持つことをねらいとしている。授業の振り返りでは、今日わかったこと以外にもこれから調べたいこと等も書くように声をかけて次回の学習への動機付けとしていきたいと考える。また、漫画の一場面から表現方法を見つけることで、これから本文を読む際に「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること」を意識しながら読むことができると考える。

(3) 展開

学習活動と内容	過程 時配 形態	○指導 ◎評価 ☆仮説との関わり
<p>1 漫画の一場面を見る。 漫画は好きか、どんなところが面白いと思うか聞く。 ・絵があって面白い。 ・キャラクターがいい。</p> <p>2 漫画を見たり、一緒に音読したりして、気づいたことを発表する。</p>	<p>見出す (5) 一斉 (10)</p>	<p>○台詞やナレーションも声に出して読むように声かけをする。文章や絵画との違いに触れ、漫画に特有の表現方法があることに気づかせる。</p>
<p>まんがの面白さのひみつを考えよう。</p>		
<p>3 漫画の面白さのひみつを探し、発表する。 ・効果音を書いてある。</p>	<p>書く (10) 個人</p>	<p>◎漫画の一場面から気がついたことを書く。(ワークシート) ○文章で書くのが苦手な児童にはワーク</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・心の声を書いてある。 ・背景に線がついている。 ・表情が豊か。 <p>4 今日の学習を振り返り、わかったことや気づいたことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な表現方法があるということが分かった。 ・まんがの面白さにひみつがあることが分かった。 	<p>発表 (10)</p> <p>書く (7)</p>	<p>シートに印をつけるように声をかけ、参加できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手が止まっている児童には「絵との違いはなにか」と声をかける。 ○面白さのひみつを表現方法ということを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ◎表現方法や面白さの秘密を考える中で秘密を調べたいという意欲を持つことができる。(ワークシート、行動、発言) ○各自の振り返りをまとめとする。手が止まっている児童がいれば、書けている児童の振り返りを紹介し、参考になるようにする。
<p>まんがにはいろいろな表現方法があることがわかった。</p>		
<p>5 振り返りを発表する。</p>	<p>まとめ あげる (2) 一斉</p>	<p>☆振り返りで漫画の表現方法やこれから調べたいことを書くことで、本文を読む際の意欲を高める。(ワークシート)</p>

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	<p>わかったこと、気づいたこと</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>表現方法</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>背景</p> <p>効果音</p> <p>ふきだし</p> </div> </div>	<p>面白さのひみつは？</p>		<p>「まんがの方法」</p> <p style="text-align: right;">石田 佐恵子</p>	<p>まんがの面白さのひみつを考えよう</p>
--	----------------------	---	------------------	--	--	-------------------------

5 本時の指導（6 / 11）

(1) 目標 「まんがの方法」がどんな方法でどんな効果をもたらしているのか、お気に入りの漫画での活用と関連付けて、読むことができる。 【読むこと ウ】

(2) 仮説との関連

文学的な文章に関する教材の読みを基調として、課題について書いたり交流したりして考えを深め、授業の振り返りの在り方を工夫していけば、「書くこと」を通して読む力を向上させることができるだろう。

単元を通して、「お気に入りの漫画を友達に知らせる」という学習問題に向かって学習していく。問題解決のために本時では、本文を読み、自分の選んだ漫画の中でどのような「まんがの方法」が使われているのかを探し、記録していく活動を設ける。そのように授業の振り返りを行うことによって、「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする」読む力が向上できるだろうと考える。特に今回は振り返りの在り方の工夫として、子供たちのタブレットを活用して、お気に入りの漫画の画像を撮影し、説明文章を書く活動を取り入れた。ICT機器を活用して、子供たちの意欲を高めるとともに、本文で学んだ「まんがの方法」を具体的な場面と関連付けて考えさせることで、読みの深まりを図る。

(3) 展開

学習活動と内容	過程 時配 形態	○指導 ◎評価 ☆仮説との関わり
1 本時のめあてを確認する。 ・本文に出てくる「まんがの方法」を確認する。 (コマ、せりふ、手書きの文字、人物のえがき方、物語の進行の仕方、背景の線、ナレーターの語り)	見出す (5) 一斉	○本文に出てくる「まんがの方法」を振り返り、本時で取り上げる「まんがの方法」を確認する。 ◎本時のめあてについて理解し、見通しをもっている。(行動観察)
お気に入りのまんがでは、どのように「まんがの方法」が使われているのか		
2 本文を読み、「まんがの方法」の効果について調べる。 ・④人物のえがき方 → 実物より単純 表情 マーク ・⑤物語の進行の仕方、 → 時間の経過 省略表現	調べる (10) 一斉	○前回の続きを読み、人物のえがき方と物語の進行の仕方と背景の効果について、実際の漫画の場面を提示しながら、具体的に確認する。 ◎本時の漫画の方法の効果を理解している。(発表シート)

<p>3 「まんがの方法」が自分の漫画のどこで使われているか考え、記録する。</p> <p>4 まとめたことを友達に発表する。</p> <p>5 本時の学習を振り返り、学習の感想を話す。</p>	<p>深める (15) 個人</p> <p>(5) グループ 一斉</p> <p>まとめ あげる (5) 一斉</p>	<p>○自分のお気に入りの漫画のどの場面で「まんがの方法」が使われているのか調べ、タブレットで撮影し、まとめシートに記録させる。</p> <p>◎「まんがの方法」がどんな方法でどんな効果をもたらしているのか、お気に入りの漫画での活用と関連付けて読むことができる。(発表シート)</p> <p>☆タブレットを活用して、お気に入りの漫画の画像を撮影し、説明文章を書き、発表する活動を設定する。</p> <p>○「お気に入りの漫画を友達に知らせる」という単元の目標に向けて、今日の学習でどこまで進んだかを振り返る。</p>
<p>まんがは人物のえがき方、進行の仕方をくふうし、面白く表現している。</p>		

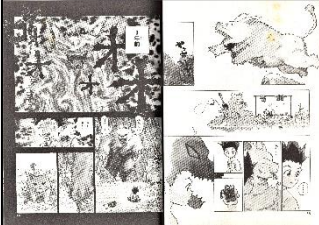
(4) 板書計画

まんがは人物のえがき方、進行の仕方をくふうし、面白く表現している。

○「まんがの方法」が自分の漫画のどこで使われているか

- ・④について ↓ 活用されて
- ・⑤について ↓ いる場所はどこにある

○今日わかったこと



④ 人物のえがき方
↓
実物より単純
表情 マーク

⑤ 物語の進行の仕方
↓
時間の経過
省略表現

「まんがの方法」が使われているのか。

お気に入りのまんがでは、どのように

「まんがの方法」

石田 佐恵子

- ① コマ
- ② せりふ
- ③ 手書きの文字
- ④ 人物
- ⑤ 物語の進行の仕方
- ⑥ 背景
- ⑦ ナレーター